

# 第5学年 体育科学習指導案

令和3年10月26日（火）体育館

## 1 単元名 「ダイナミックムーブ！」（表現運動）

### 2 運動の特性

#### (1) 一般的特性

○自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に没頭してなりきって踊ることが楽しい運動であり、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

○いろいろな題材からそれらの特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりする運動である。

#### (2) 児童からみた特性

表現の楽しさや喜びを感じる要因	表現を遠ざける要因
<ul style="list-style-type: none"><li>・イメージやリズムに合わせて表現することができたとき</li><li>・友達と協力して表現を工夫できたとき</li><li>・創作する楽しさや、それを表現する素晴らしさを体験できたとき</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・イメージができず、どう表現していいかわからないとき</li><li>・体を使って大きく表現することがはずかしいと感じてしまうとき</li><li>・イメージした動きをうまく表現できないとき</li></ul>

### 3 児童の実態

#### (1) 知識及び技能

本学級は、男子 名、女子 名、計 名の少人数学級である。運動能力は個人差があるものの、踊ることに対しては、抵抗感がなく、去年は自分たちで振り付けを考えたクラスのダンスを作り、楽しく踊っていた。林間学校のキャンプファイヤーの練習の際も、自主的にダンスを練習し、体を大きく使って踊ることができた。恥ずかしがっている児童もいたが、友達の動きを真似しながら、だんだん大きく表現することができた。ただ、一つ一つの動きには個人差があり、細かい動きが覚えられていない児童も見られた。

#### (2) 思考力、判断力、表現力等

1学期のマット運動では、自分の力に合った技を身につけ、その技を組み合わせて発表した。その際、技のポイントを見合い、友達のよい動きを見つけることができた。また、上手に回転できていない児童に対し、グループの中でコツを伝え合う活動を取り入れたところ、技の完成度が高まり、自信をもって発表することができた。一方で、学習カードの振り返りや教師が質問した時には答えられるものの、話し合いの際には決まった児童が発言することが多く、自分の思いや考えを十分に表現しきれない児童もいる。

#### (3) 学びに向かう力、人間性等

多くの児童が、体を動かすことが好きで、休み時間に外へ出てドッジボールやサッカー、鉄棒などを行っている。体育の授業は、全員が毎時間意欲的に取り組み、用具の準備や片付けも協力して素早く行うことができる。また、個々の目標をしっかりと持ち、それに向かって頑張る姿も多く見られ、振り返りの時には自信をもって達成できたことを発表することができた。一方で、意欲が高い分、夢中になってしまい、仲間の意見を聞き入れず、自分勝手に行動してしまう場面も見られた。

体育の学習についての意識調査の結果は次の通りである。

1 体育は好きですか		
好き		〈理由〉いろいろな運動ができるから。体を動かすのが好きだから。できなかったことができるようになるとうれしいから。みんなで協力できるから。得意だから。
どちらかというとき好き		
どちらかというとき嫌い		
嫌い		
2 表現運動（ダンス）は好きですか		
好き		〈理由〉リズムにのると楽しくなるから。難しい踊りができるとうれしいから。楽しい気分になるから。体をほぐすことができるから。カッコいいダンスが好きだから。リズムに合わせて踊ると気持ちいいから。
どちらかというとき好き		
どちらかというとき嫌い		〈理由〉足の動きの覚えるのが苦手な難しいから。
嫌い		
3 表現運動（ダンス）の授業で楽しみなことややってみたいことはなんですか		
リズムにのって思いっきり踊りたい。激しいダンスをしてみたい。みんなで楽しく踊りたい。道具を使って踊ってみたい。流行りの曲で踊りたい。自分たちでダンスを創ってみたい。しりとりダンスをしてみたい。フラフープダンスをしてみたい。BTSの曲で踊ってみたい。		

体育への関心が高いことが分かる。表現運動に関しては、ほとんどの児童が「好き」「どちらかというとき好き」と回答し、表現運動への抵抗感があまりなく、理由からも意欲が高いことが分かった。しかし、「どちらかというとき嫌い」と回答する児童がいるため、導入部分で心と体をしっかりほぐし、表現運動の楽しさを伝えていけるような指導をしていく。

#### 4 教師の指導観

##### (1) 知識及び技能

表現運動は、自分の思いや考えを表現し、仲間とともに試行錯誤しながら動きや作品を作り上げていく過程が魅力的な運動である。そのためには、イメージの視野を広げることが大切になるため、オリエンテーションにおいてのイメージツリー作りの活動を重視し、作品作りにつなげていきたい。第2・3・4時で表現の基本（4つのポイント）を指導する際には、一つ一つの動きの確認を一緒に行い、児童が具体的にイメージできるようにしていく。

本時では、「はじめ・なか・おわり」をつけた簡単なひとまとまりの動きにして踊ることを目標とするため、前時に作った「なか」の部分を中心に、「変化とメリハリ」をつけた内容になるような「はじめ」と「おわり」を意識させたい。そのために、「動」だけでなく、「静」の動きもしっかりおさえた指導を心がけていく。

##### (2) 思考力、判断力、表現力等

児童が、自信をもって表現できるようにするためには、児童がよい動きをした際に称賛し、全体に広げていくことが大切であると考えている。そして、教師も一緒に動き、恥ずかしがらずに自由に表現できる雰囲気を作っていきたい。毎時間の感覚づくりの運動では、児童が楽しくなるようなBGMで、自由にリズムにのって体を動かすことができる運動と、だれでも簡単に取り組める楽しい活動で、心と体をほぐしていく。

また、話し合いの際、決まった児童のみの話し合いになってしまうことが課題としてあるため、児童が自信をもって仲間に自分の思いや考えを伝えられるようにしたい。そのために、教師が児童に対し、肯定的で具体的な言葉かけをたくさんすることで、児童が仲間同士で肯定的で具体的な言葉かけができるようになることを考えるため、積極的に行っていく。そして、児童が、仲間と共

に個人やグループの課題を見つけ、解決していけるような指導を工夫していく。

(3) 学びに向かう力、人間性等

本単元は、自由に表現する中で、仲間同士でよさを認め合い、助け合いながら作品作りをしていくことをねらいとしている。その中で、仲間と一緒に創り上げていく喜びや一体感を味わわせたい。児童が、仲間の意見をよく聞き、互いに考えた動きを取り入れたり、積極的に仲間の動きを真似したりすることで、互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている児童の姿を目指したい。そのため、毎時間の振り返りで、全員が「今日のキラリ」として一番よい動きをしていた仲間を紹介する活動を取り入れ、互いに認め合う雰囲気づくりを高めていく。

**5 単元の目標**

- (1) 生活や自然の中から、動きの変化や起伏の特徴を捉え、ひと流れの動きで即興的に踊ったり、「はじめ・なか・おわり」をつけた簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができるようにする。 【知識及び技能】
- (2) イメージにふさわしい動きを見つけたり、表したいイメージを強調するための自己やグループの課題の解決に向けて、動き方を工夫したりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い、助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

**6 単元の評価規準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①表現の行い方について、話したり書いたりしている。 ②激しい感じや急変する感じを、メリハリのあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。 ③表したい感じやイメージを強調するように、変化と起伏のある「はじめーなかーおわり」の簡単なひとまとまりの動きで踊ることができる。	①課題に応じて差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいる。 ②グループ同士やクラス全体で見合い、よくなったところや踊りの特徴が出ているかなどについて伝え合っている。	①表したい感じやイメージを表現し、積極的に取り組もうとしている。 ②互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。

**7 単元の計画**

(1) 領域（表現運動系及びダンス）の取り上げ方

学年	運動
1	リズム表現遊び9時間
2	リズム表現遊び4時間
3	表現運動4時間
4	表現運動4時間
5	表現運動7時間
6	表現運動6時間

(2) 表現運動系及びダンスの内容と目指す動き

学年	内容	目指す動き
1 2	表現リズム遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な動物や乗り物などのいろいろな題材や様子の特徴をとらえて、そのものになって全身の動きで楽しく踊る。</li> <li>○軽快なリズムに乗って、弾んで自由に踊ったり、友達と調子を合わせたりして楽しく踊る。</li> </ul>
3 4	表現運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「具体的な生活からの題材」や「空想の世界からの題材」など、その特徴や感じをとらえてひと流れの動きで即興的に表現したり、表したい感じを中心に「はじめとおわり」を付けた動きにしたりして表現する。</li> <li>○弾んで踊れる軽快な曲や、いろいろな速さや曲調の異なるリズムの曲に乗って、全身で即興的に踊ったり、友達と自由にかかわり合って踊ったりして楽しく踊る。</li> </ul>
5 6	表現運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな題材の中から、表したい感じやイメージを強調するように、変化を付けたひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで「はじめ—なか—おわり」を付けた簡単なひとまとまりの動きにしたりして表現する。</li> <li>○伝承されてきた日本の地域の踊りや外国の踊りから、踊り方の特徴をとらえ、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流する。</li> </ul>

(3) 指導と評価の計画 (7時間扱い) 本時は○印 6/7 時

時	1	2	3	4	5	⑥	7	
ねらい	ダイナミックムーブについて知り、「激しい」イメージを広げて踊ろう!	基本の動きを表現してみよう! ～動き・リズムを意識しよう～	基本の動きを表現してみよう! ～空間を意識しよう～	基本の動きを表現してみよう! ～関わりを意識しよう～	ダイナミックムーブストーリーを作ろう!	メリハリをつけたストーリーを完成させよう!	ダイナミックムーブコンテストをしよう! ～発表会～	
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の進め方・約束</li> <li>イメージツリー作り</li> <li>基本の動き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の基本(動き・リズム)</li> <li>ひと流れの動きを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の基本(空間)</li> <li>ひと流れの動きを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の基本(関わり)</li> <li>ひと流れの動きを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の発展(4つのポイント)</li> <li>ひと流れの動きを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の発展(「はじめ」「おわり」を作る)</li> <li>ひとまとまりの動きにして踊る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の発展(発表会)</li> <li>ひとまとまりの動きにして踊る</li> </ul>	
学習過程	1 集合・整列・挨拶・健康観察・準備運動をする。 2 感覚つくり運動(心と体のほぐし)をする。(リズムダンス・エアスポーツ・ジェスチャーゲーム等) 3 学習課題の確認をする。							
	<オリエンテーション> 4 単元の学習内容と本時のねらいの確認をする。 ・ダイナミックムーブについて知る。 5 イメージツリーを作る。 ・「激しい」イメージのある現象や出来事を出し合う。 6 即興的に踊る。 ・教師と一緒にいろいろな動きを表現する。	4 表現の基本を知る。 ・動き・リズムを意識した動きの確認をする。 5 テーマを決めて、ひと流れの動きを踊る。 ・タブレット端末を使って動きを記録する。 ・動きを確認し、課題を見つけ話し合う。 6 グループで見せ合う。 ・互いの良い点や改善点を伝え合う。	4 表現の基本を知る。 ・空間を意識した動きの確認をする。 5 テーマを決めて、ひと流れの動きを踊る。 ・タブレット端末を使って動きを記録する。 ・動きを確認し、課題を見つけ話し合う。 6 グループで見せ合う。 ・互いの良い点や改善点を伝え合う。	4 表現の基本を知る。 ・関わりを意識した動きの確認をする。 5 テーマを決めて、ひと流れの動きを踊る。 ・タブレット端末を使って動きを記録する。 ・動きを確認し、課題を見つけ話し合う。 6 グループで見せ合う。 ・互いの良い点や改善点を伝え合う。	4 ストーリーを作る。 ・表現の基本を使って「なか」を作る。 ・前時までの記録を参考に 5 踊る。 ・動きを確認し、課題を見つけ話し合う。 ・タブレット端末を使って動きを記録する。 6 グループで見せ合う。 ・互いの良い点や改善点を伝え合う。	4 ストーリーを作る。 ・「なか」を強調する「はじめ」と「おわり」を作る。 5 踊る。 ・動きを確認し、課題を見つけ話し合う。 ・タブレット端末を使って動きを記録する。 6 グループで見せ合う。 ・互いの良い点や改善点を伝え合う。	4 練習をする。 ・撮影した動きを確認し、修正する。 5 「ダイナミックムーブコンテスト」を行う。 6 優勝グループの発表をする。 ・どんなところがよかったか全体に広げる。 ・発表後、ポイントを意識してみんなで踊る。	
	7 本時のまとめ・振り返りをする(踊る・「今日のMVP」の発表) 8 整理運動・挨拶・後片付けをする							
評価計画	知・技	①		②			③	
	思・判・表				①	②	②	
	態		②				①	
	方法	観察	観察・学習カード	観察・学習カード	観察・学習カード	観察	観察	観察
	場面	5・6	5・6	5・6	5・6	4・5・6	4・5・6	4

## 8 本時の学習と指導（6／7時）

### (1) ねらい

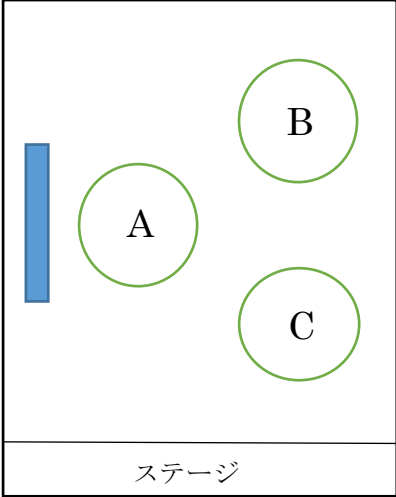
- グループ同士やクラス全体で見合い、よくなったところや踊りの特徴が出ているかなどについて伝え合っている。 〈思考・判断・表現〉

### (2) 準備

- ・CDデッキ・掲示資料・ホワイトボード（めあての掲示用）・タブレット

### (3) 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導◆評価規準）
導入 8分	1 集合、整列、挨拶、健康観察、準備運動をする。	○素早く集合・整列・号令ができるよう声かけをし、気持ちよく学習を始められるようにする。 ○児童の健康状態を把握し、安全のために身支度を整えるよう声かけをする。 ○チームごとにリーダーを先頭にして整列できるようにする。 ○自校体操で準備運動を行う。
	2 感覚つくり運動をする。 （心と体のほぐし） ・リズムダンス	○本時の活動で大きく表現できるよう、体をしっかりほぐし楽しい雰囲気で行う。 ○グループで、リズムに合わせて楽しく行うよう声かけする。 ○よい動きができている児童を称賛し、意欲を高める。
展開 30分	3 本時のめあての確認をする。	○ホワイトボードを活用し、本時の課題を分かりやすく説明する。
	メリハリをつけたストーリーを完成させよう	
	4 ストーリーを決める。	○本時の学習の見通しをもたせて、活動への意欲を高める。 ○前時に決めた「なか」を強調するための「はじめ」と「おわり」を作ることを伝え、踊りのメリハリをつけたストーリーを意識させる。 ○4つのポイントを意識するよう促す。
	5 グループ表現をする。 ・意見を出し合う。 ・撮影したもので確認をする。	○簡単なひとまとまりの話を体全体で表現させる。 ○前時までの記録を参考に、動きを組み合わせるよう声かけをする。 ○「静」と「動」の動きを意識して表現させる。 ○タブレットで動きの確認をし、メリハリをつけた動きになっているか確認させる。 ○話し合いの場で、相手との距離を保つよう声かけをする。 ○感じを込めて通して踊るよう声かけをする。
6 グループ同士で見合う。 （1グループ6人） ・それぞれのグループの良い点や改善点を伝え合う。 ・改善点もふまえて、もう一度踊る。（一斉）	○それぞれのグループの良い点だけでなく、改善点も見付けて伝えるように助言する。 ○4つのポイントに触れて伝え合うよう声かけをする。 ○発表の場を設定するときは、児童同士の距離が近付かないようにする。	

	<p>【活動の場】</p>  <p>ステージ</p>	<p>△努力を要すると判断される状況(C)の児童への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つのポイントを確認し、見るポイントを示す。</li> <li>・よい動きができてきている児童を称賛し、伝え方の例を示す。</li> </ul> <p>◎十分満足できると判断される状況(A)の児童の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分やグループのよさを知るとともに、練習や発表会で自分やグループを生かす動きを見付け、それを伝えようとしている。</li> <li>・改善点について考え、グループの仲間に具体的に伝え合おうとしている。</li> </ul> <p>◆グループ同士やクラス全体で見合い、よくなったところや踊りの特徴が出ているかなどについて伝え合っている。 (観察)【思考・判断・表現】</p>
<p>整理 7分</p>	<p>7 本時のまとめをする。</p> <p>8 整理運動、挨拶をする。</p> <p>9 後片付けをする。</p>	<p>○学習カードをもとに、本時のねらいに沿って振り返る。</p> <p>○次時に繋がるように良い動きを具体的に賞賛する。 (「今日のMVP」の発表)</p> <p>○よく動かしした箇所を中心に丁寧にほぐすよう助言する。</p> <p>○元気に挨拶をする。</p> <p>○安全に留意して片付けをさせる。</p> <p>○仲間と協力しながら片付けるように言葉がけをする。</p>

9 資料

